

特別幹事会報告
1994.5.11 淀川キリスト教病院

今年度の事業計画である創立20周年記念事業について、白方誠彌会長の出席を得て特別幹事会を開き事業内容を協議した。その結果、次の企画で記念行事と会誌記念号の出版をすることになった。

●記念行事

日程：平成6年11月9日(水)
会場：京都市立国際交流会館(京都市左京区粟田口鳥居町2番地1)
プログラム：13時00-15時00シンポジウム「これからの病院図書室」(仮題)シンポジスト5名、司会2名
15時30-14時30特別記念講演「老いを考え死を学ぶ」
講師：柏木哲夫大阪大学教授
16時45-18時30 レセプション
参加費：シンポジウムと講演会；2,000円
レセプション；4,000円

●会誌記念号は、14巻4号を記念号とし20頁増やす。協議会の活動・事業のあゆみは各事業部でまとめ、記念記事は編集部で企画する。なお、当号の配布にあたっては「病院図書室の充実」をうたったアピール文書を添付する。

●記念事業予算は計上予算、参加費、会場費、謝礼金、交通費などがあり、おおよその見積もりは収入が88万円、支出が74万円(明細省略)である。

平成6年度 第2回幹事会報告
1994.6.9 国立京都病院

I 各事業部報告と協議事項

事務局(総務・会計) ①入会：大垣市民病院
②会員異動：別掲参照 ③会計報告 ④現行

所在目録編集経過：5月24日付け文書で会員へ配布 ⑥JMLA第1回医学図書館員基礎研修会(平成6年8月24-26日、大阪大学附属図書館生命科学分館)へは5名の参加申込みがあり、4名が参加することになった。⑦第59会近畿地区医学図書館協議会例会(5/13大阪歯科大学)へ小田中徹也(事務局)、浜口恵子(会員)出席。理事会、評議員会の報告があったが、第65回総会では会則改定が提案される。特に会員構成については大きな変化があるようである(関連記事参照)。⑧名古屋勉強会(5月28日、国立名古屋病院)参加者8名。

研修部 第71回研修会(7月9日、神戸市立中央市民病院)の準備について。講師謝礼と交通費の支給、研修教材としてビデオテープ「図書館の達人」第1巻の購入申請があり、了承された。

会誌編集部 編集部を2グループに分け隔号を担当する。14巻2号の発行は6月末の予定。編集部員増員については候補者と交渉中。

総合目録編集委員会 7月末に書誌データの入力外注を予定している。

II 決定事項

- (1) 「図書館の達人シリーズ」第1巻購入
- (2) 研修会でのネームプレート作成
- (3) 9月創立20年記念行事のポスター作成と案内
- (4) シンポジウムは次のテーマについて、各シンポジストを依頼することになった。
 - ①海外病院図書室の体験的紹介 ②JMLAの改革と病院図書室
 - ③教育・研修と図書室の役割 ④医療における図書館員の専門性
 - ⑤コンピューターと情報メディア

《会員異動》

西陣病院

担当者 城多 美和→家里世根子

大阪労災病院

担当者 松井美抄枝→上川菜々子